

清友

No.204

2026年8月
(2026年8月4日発行)

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541



御岳山のレンゲショウマ



今年の日帰りツアーは、「都営地下鉄木場車両検修場見学とバーベキュー」です。
昨年行った葛西臨海公園バーベキューは評判が良く、「またやりたい」の声が。少々安易ですが、今年もバーベキューにしました。会場は木場公園です。
組み合わせる見学は、『都営地下鉄木場車両検修場』です。
何するところ？ 都営地下鉄大江戸線の「車両基地」で、電車の機器やブレーキ、電気系統

10月6日

日帰りツアー
都営木場車両検修場見学と
木場公園バーベキュー
(参加募集は9月に案内)

11月10日

江戸東京博見学とちゃんこ

等が正しく動くか定期的検査や修繕を行い、路線の運行に合わせて車両を管理する施設です。
見学時間は概ね2時間です。
11月の行事は、「博物館見学ツアー」。リニューアルした「江戸東京博物館見学とちゃんこ」です。4面の見学記では「大混雑」とありますが、シニア無料の第三水曜日を避け、昼も博物館内ではありませんので、



心配無用かと。プランの詳細は9月幹事会で決めます。

秋の学習会延期、

テーマ変更の方向

岸まきこ参議院議員講師の学習会を9月に予定し、清掃本部を通じて日程調整していましたが、障害が多

く実施困難なため、延期することになりました。11月後半から12月前半の開催を目指し、テーマと講師を9月幹事会で決めます。「成年後見制度」を候補として調整中です。〈谷枝章〉

ツアープラン

▼集合

東京メトロ東西線木場駅

▼都営木場車両検修場見学

10時00分～12時00分

▼バーベキュー(木場公園)

12時30分～15時

▼参加費 3千円程度の予定

※申込み 9月に行います。

2回目のボウリング交流会

なんとー！ほぼ全員！ベルアップ

初めて行った昨年のボウリング交流会からちょうど一年、今年も同じ時期の7月17日、同じ場所の東京ドームボウルで開催しました。奇しくも参加者は全く同じメンバーの11人でした。

ボウリング場は満員の盛況

午後1時半に集合し、ゲームを始めたとき、ボウリング場は2組だけでしたが、若い人中心にどんどん増え、2時過ぎにはほぼ満杯。昨年よりボウリング人気が高まった？ それとも、

学校の終業式の日だったから？

まぐれ当たりか？覚醒か？

隣り合わせの3レーンで、白熱のゲームを展開。今年も2ゲームマッチ。昨年より全員年を取っているのだから、スコアも昨年並みがせいぜいかと思っていたところ、2ゲーム目で覚醒？ 10フレでターキーという大技を、しかも2人が記録、これにはみなビックリ。

全体としては、ロースコアの争いでしたが、歴代ハイスコア



(2年目だけど) がマークされ、全員が1回はストライクを決め(2年連続ロースコアの人を除き)、カイカン！ ほぼ全員が昨年よりスコアをアップしました。「昨年は久しぶりだったの、散々だったけど、1年ぶりの今年は調子が良かった」との感想が象徴的でした。へえ、そんなものなのかしら。

記念品もグレードアップ

ゲーム終了後、水道橋駅前に場所を移して、懇親会&表彰式。表彰式をやってから懇親会が普通なのだろうが、退職者会流



賞状

最高に輝いて一等賞

鈴木 唱司 様

あなたは本ボウリング交流会においてよく健闘され素晴らしい成績を収められましたのでこれを賞します

2026年7月17日

東京清掃労働組合退職者会
ボウリング交流会実行委員長

今年も参加者が少なかったのは残念でしたが、ゲーム中も懇親会も笑いどおし、本当に楽しい会になりました。参加者は「来年もやるぞ！」と意気軒高。来年はもっと参加者が増えることを願っています。

〈戸枝章〉

来年もやるぞ！と意気軒高

記念品も正式行事になった今年は少しグレードアップ、その上、セレモアからいただいたカリントウもあり、ほぼ全員がわけのわからない理由を設けて表彰されました。何かもうと嬉しいものですね。

は逆。散々呑んでから表彰式。優勝に相当する「最高に輝いて一等賞」は準会員の鈴木唱司さん、「もうちょつとだった二等賞」は戸枝章さん、ちなみにワン・ツは元多摩川事業所です。「まだまだ修行不足三等賞」は谷中登さん、「運にも恵まれブルー賞」は箱田修一さん、「めげずに頑張ったで賞」は小林登志子さん。さらに昨年のチャンピオン箱田はるみさんに「来年に期待する残念賞」も。へべレケの岡澤徹会長から賞状と記念品が渡されました。

第1回会 幹事

新年度の機関運営態勢と
年間活動計画を確認、夏
から秋の行事計画を検討

7月14日、第1回幹事会と専門部会を開催し、①新年度の機関運営態勢、②年間活動計画、③秋の学習会の延期とテーマ変更、④夏から秋の行事計画を検討・確認しました。

新年度機関運営態勢

▼専門部配置

①組織共闘部

*担当役 岡澤 徹、戸枝 章

*部 員 押田五郎

②文化厚生部

*担当役 佐藤晋一、瀬瀬 朗

*部 員 山岸治美、箱田修一、坂本浩明

▼上部団体役員幹事

①自治体退職者会東京都本部

*幹 事 岡澤 徹

*組織財政検討委員 岡澤 徹

*役員選考委員 岡澤 徹

②東京都庁職員退職者連合会

*会計監事 坂本浩明

*幹 事 瀬瀬 朗

*役員選考委員 岡澤 徹

▼企画会議構成員

今年度も瀬瀬、戸枝、岡澤、箱田です。機関紙発送作業の応援（ネコの手）は、岩田正隆さんと森 遵さんです。

▼機関紙編集体制

編集委員は企画会議メンバーです。持回り方式（ネット）により編集、方針的内容の記事は原則として事前調整、その他の記事は筆者、編集者に原則として委任する方式です。

26年度年間活動計画

別掲のとおりです。

秋以降の行事を検討

秋の学習会は都合により延期、11月下旬開催を追求します。ボウリング交流会と秋の行事を検討し

●2026年度年間活動計画

	行 事	機関会議（幹事会）	上部団体等
6月	第18回定期総会		
7月	ボウリング交流会	幹事会（秋の行事）	
8月			
9月	学習交流会（延期）	幹事会（秋から新春の行事）	高齢者集会
10月	日帰り親睦旅行		東京清掃 賃金確定闘争
11月	博物館見学ツアー	幹事会（新春から春の行事）	
12月	（新たな交流行事）		
1月	新春の集い		東京清掃旗開き
2月	演芸鑑賞会		退職者送別会
3月	学習交流会	幹事会（総会日程、春の行事）	
4月	芝桜見物ウォーク		
5月	フィールドワーク	幹事会（総会議案）	メーデー
6月	第19回定期総会		

ました。10月・日帰りツアー、11月・博物館見学ツアーを実施します。また、来春の行事（新春の集い、演芸鑑賞、花見など）の構想も検討に入りました。多くの会員が参加し楽しめる行事を企画するつもりです。〈瀬瀬朗〉

会員拡大へ向けて 第五地連常任委要請

7月7日、岡澤徹会長と瀬瀬朗事務局長が第五地連常任委員会に参加し、会員拡大に向けた要請を行いました。

岡澤会長から「本年は入会ゼロだったが、その後2名加入いただけた。組合員から見ると、退職者会はちよつと固いイメージのようなが、主な活動は旅行や見学等娯楽イベント。加えて、高齢者の生活を支える社会保障は平和でないと維持できないので、それを守る活動をしている」とあいさつ。瀬瀬事務局長からは「退職者会の取組みを知っていただくため、再任用の方へ機関紙配布をお願いしているが、加入に結びついていない。各支部役員の協力なしでは厳しい。本日の要請を各支部で共有していただきたい」と訴えました。

斎藤地連事務局長から、「本日の要請を踏まえ、各支部で周知し取り組みましょう」とまとめいただきました。今後、他地連へもお願いに伺います。〈瀬瀬朗〉



「江戸東京博物館」

を観てきました

今年の東京都庁職員退職者連合会（都庁退）学習会は、江戸東京博物館の見学でした。清掃退職者会から岡澤徹会長・瀬瀬朗事務局長の2名が参加しました。私たちも江戸東京博物館の見学を計画しています。下見を兼ねた参加となりました。

7月15日9時45分博物館入口に集合しました。入口前はそれほど狭いわけではありませんが、小学校の団体を載せた大型バスが何台か入ってくるので、集合点呼には幾分の注意が必要かもしれません。

予想以上の混雑でした

展示は常設展と特別展に分かれています。まずは常設展を見て回りました。歩きにくいくらい混雑していて、ゆっくり見て回るにはちよつと大変です。江戸時代を再現した建物の入口に列ができているのを見て、入るのを諦めました。第三水曜日は高齢者が無料であることが影響していると思います。

はじめは千代田や日比谷あたりの展示で、あまり縁のない話でしたが、今の小岩や葛西あたりの地名が書かれた地図や、近代の学校給食サンプルの脱脂粉乳や先割れスプーンを見て、瀬瀬さんと二人で勝手に盛り上がりました。

大規模な施設で、しっかりと全体を見るのは大変。自分の関心のあること、身近なことだけ見て楽しむのも、悪くないと思いました。

展示場入口横に表示してあるQRコードをスマホに読み込ませてインストール

すると、展示を見ながらイヤホンで説明を聞くことができます。この日は、混雑で、展示物の前に立ち止まって説明を聞くどころではありませんでした。

特別展はちよつと微妙

特別展は『洋館、明治の夢と挑戦』と題して、建物の絵や写真、装飾、ソファ、家具、設計図などが展示されています。あいにく、参加した二人は建築には興味がなく、さっと見ただけです。会場も小規模です。関心のある人なら、ゆっくり回れると思います。特別展にこだわらず、まずは常設展だけでも見る価値はあると思います。

食堂也大混雑でした

会場の混雑からも予想できたとおり、博物館横の食堂は相当並ばないと入れません。博物館周辺には食堂はたくさんありますが、昼休みの会社員でどこも行列になっていました。

11月に行く清掃退の「見学」は、ちゃんこを予約するので心配なしですが、個人の見学で利用する場合は、時間をずらしたほうが安心でしょう。〈岡澤徹〉

都庁退親睦交流会に参加しませんか

東京都庁職員退職者連合会（都庁退）のバスハイク、今年は「小田急ロマンスカーミュージアムと豆腐と温泉」がテーマ、開催日は9月28日（月）です。都庁前を8時半出発、最初の立寄り先は「海老名市温故館」。大正期の郡役所様式による旧海老名村役場庁舎も見ものです。次は徒歩10分ほど先の「相模国分寺跡」。海老名が神奈川の中心だったことがしのべれます。バス移動、「小田急ロマンスカーミュージアム」見学。鉄道オタクでなくても楽しめそう。

お昼は、大山豆腐の湯葉懷石「青木館」。飲み物は各自だそうです。そして、最後が七沢温泉でのんびり。おまけに黄金井酒造立ち寄りと盛り沢山。

参加費は5千円ですが、会費から半額補助します。参加を希望する方は、8月20日ころまでに、会へ一報ください。〈戸枝章〉



区移管闘争・世代間ギャップってなに？

東京清掃青年部との意見交換会を開催

7月12日（日）午前9時から清掃会館で、東京清掃本部青年部と意見交換会を開催しました。進行役の坂部貴之東京清掃副委員長は「今後も継続する一回目にしたい。忌憚のない意見交換をお願いしたい」と発言し、青年部、退職者会と自己紹介をして意見交換に入りました。

区移管闘争職場の内実

意見交換は、青年部からの質問に退職者会が応えるという形式で進みました。

最初は、区移管闘争時の職



退職者会参加者：戸枝事務局次長、岡澤会長、佐藤副会長、山岸幹事、箱田幹事、瀬瀬事務局長、押田幹事



青年部参加者：山口部長、武井副部長、阿部書記長、波紫組織部長、乙幡教文部長

ストライキのやり方は？

場の雰囲気、組合員の士気について青年部から「区移管反対闘争は丸になった闘いだっただのか、反対意見もあったのか、職場の組合員に無関心が多かったのか」の質問、退職者会から「区移管は、清掃の存在意義に関わることであり、長い区移管闘争の歴史を背景にした闘いだだったので、ほぼ全組合員の参加による1万人集会、100万署名などを取り組めた」と、当時の雰囲気も含めて説明しました。

次に青年部から「90年代はストライキをやっていたと聞いているが、職場では、『どうせやらないし、やり方もわからない』という雰囲気」との発言。退職者会から「60〜80年代は年複数回のストをやった。ただし、1Hストではごみを残せない支部も多々あった」

などの話しをしました。

住民との奇跡的關係？

ストライキ実施の際「ごみを残す地域の住民に説明をした」という説明に対し、青年部は目を丸くして「地域住民が出てきたのか、集積所に住民がいたのか」と質問。退職者会は「当時は容器収集だったので、住民が空容器を取りに来ていて、話す機会は多かった」「商店や個人宅で休息場所を提供してくれるところも相当数あった。反面、手心を加える不正収集もあったけど」など、オフレコの昔話も交えながら説明しました。

悩み多き青年部を応援

青年部時代の活動内容等の質問があり、職場活動の進め方の悩みなども吐露されました。最後に、参加者全員が青年部への期待や感想を述べ、締めめに山口明日波青年部長から、「先輩の方の組合活動の思いが未だ点っている。その思いを青年部は燃やし続けるよう頑張る。青年部大会にもぜひ参加してほしい」と要請され、岡澤会長が参加することを確認し終了しました。

やってよかった意見交換会

これを機会に、機関紙交流や活動のコラボで組織的なつながりを持つことも確認しました。3時間は長いなーと思いましたが、アツという間でした。懇親会も和気あいあいと進み、若い人の食欲に圧倒されながらも楽しめました。青年部の状況を聞き、我々の時代と違う悩みが多いことに気づきました。今後も交流を続け、手助けしたいと強く感じた意見交換会でした。（瀬瀬朗、写真・東京清掃提供）



第28回清掃・人権交流会総会と 人権啓発推進学習会が開かれる

猛暑の続く7月25日(土)清掃・人権交流会の第28回総会がSKホールで開かれ、総会の前段には、東京清掃の2026年度第1回人権啓発推進学習会が行なわれました。

朝鮮高校の無償化排除は差別排外主義だ

今回の学習会は、「差別排外主義ともいえる朝鮮高校の無償化排除等について」をテーマとして、講師に「朝鮮学校の補助金復活を求める『都議会勉強会』実行委員会」をお迎えして学習を深めました。

東京都では2021年に『東京都こども基本条例』が成立し、



お話しされた朝鮮学校の補助金復活を求める『都議会勉強会』実行委員会メンバー

「全てのこどもが誰一人取り残されることなく」と明記されています。ところが都は、外国人学校に出している補助金から2010年に朝鮮学校だけを除外しました。時を同じくして、政府の高校無償化制度からも朝鮮高校だけが排除。高校無償化からも外国人学校補助金からも朝鮮学校は排除されたのです。

若い参加者も多く活気があふれた総会に

その後、清掃・人権交流会の第28回総会が始まりました。

押田五郎会長と東京清掃多田修一郎委員長のあいさつの後、若い橋本龍輝さん(中央支部)から経過報告。短時間

創ってきたのが朝鮮学校です。数々の厳しい弾圧にさらされて来ましたが、押しつぶされずに民族の誇りや文化を守るために在日の人々が守り抜いてきた学校です。

東京都こども基本条例に基づいて都に外国人学校補助金を朝鮮学校に復活させるため、2022年に都議会議員への働きかけを始め、市民が中心になって「都議会勉強会」実行委員会を発足させて、各地域での学習会やこれまで4回の「都議会勉強会」を行なってきました。

こうした内容を実行委員会メンバーの3人が次々と報告し、力の入った勉強会になりました。差別排外主義が強まる日本社会における朝鮮学校差別問題がとても重要であることを、当事者の訴えをしっかりと聞いて共感することができました。

に、この一年のフィールドワークやサポーター研修、研究集会、狭山闘争や再審



交流会役員の本橋さん、橋本龍輝さん、岡崎さん



法改正、長生炭鉱の取組み等をまとめて報告、活動内容を確認しました。各行動参加者からの感想文も含めて、活動の豊かさを実感することができました。

さらに岡崎広事務局長(墨田支部)が提起した2026年度の活動計画では、狭山第4次再審闘争、冤罪を許さない闘い、フィールドワークの充実、研修所のサポート研修の取り組み、アジアの清掃労働者との連帯などについて確認しました。

参加者は44名。若い仲間の参加も多く、活気ある総会となりました。(押田五郎写真・東京清掃提供)

狭山事件の証人尋問・再審開始署名に協力を

1963年に発生した狭山事件で犯人とされた石川一雄さんは、無罪を訴え闘い続けましたが、昨年3月に無念のうちに亡くなりました。その遺志を継いで妻の石川早智子さんが、第4次再審請求を申立てています。

しかし、3月に担当裁判長が交替、前田巖判事が就任しました。弁護団は、新たな裁判長と裁判官にプレゼンテーションを行い、鑑定人尋問、再審開始を求めていくこととし、そのため

の世論喚起へ、裁判長宛要請署名を取組むことになりました。

東京清掃は、狭山事件の再審開始実現へ向けて、組合員・家族署名の取組みを行っています。退職者会もその一端を担いたいと、先月、署名の協力について皆さまに要請しました。署名の集約は8月20日です。積極的対応をお願いします。〈額額朗〉



JALに解雇争議の早期解決を求める署名

2010年大晦日、JALがパイロット81名と客室乗務員84名を「整理解雇」してから15年半が経過しました。

2026年1月15日に東京都労働委員会は、「JALが被解雇者



労組（JHU）に対し、解雇に結びついた更生計画の人員数を団交で示さないのは不当労働行

為」とする解決に結びつく画期的命令を示しました。しかし、JALは未だ都労委命令に従わないばかりか、さらなる不当労働行為を繰り返しています。

JHUと支援する会は、世論の力でJALを包囲すべく、署名活動を開始しました。退職者会にも協力要請がありました。

署名は東京清掃の実施時期に合わせて、8月に行います。集約日は9月3日です。皆さまのご協力をお願いします。〈額額朗〉

8月～9月の主な行事と行動予定

◆東京清掃反戦・平和学習会

*日 時 8月14日（金）
17時45分開会

*場 所 清掃会館

*テーマ ビギン環境水爆実験被爆から考える『平和』

*講師 第五福竜丸展示館 学芸員 市田真理さん

▼戦争犠牲者追悼・平和を誓う集会

*日 時 8月15日（土）
11時45分～

*場 所 千鳥ヶ淵戦没者墓苑

▼強権政治に声をあげる！主権者は私たち！8・19国会正門前大行動（紹介）

*日 時 8月19日（水）
18時30分～

*場 所 国会議事堂正門前

■地公三連産・地公退高齢者集会

*日 時 9月14日（月）
13時00分～

*場 所 日本教育会館

■全国高齢者集会

*日 時 9月15日（火）
13時00分～

*場 所 文京シビックホール

●第2回幹事会

*日 時 9月18日（金）
10時30分

*場 所 清掃会館（傍聴可）

▼強権政治に声をあげる！主権者は私たち！9・19国会正門前大行動（紹介）

*日 時 9月19日（土）

*場 所 国会議事堂正門前

▼進む軍事強化反対全国集会

*日 時 9月23日（水・休）
12時50分～

*場 所 代々木公園B地区

▼さようなら原発集会

*日 時 9月23日（水・休）
14時00分～

*場 所 代々木公園B地区

◆都庁退連合・親睦交流会

*日 時 9月28日（月）
8時30分 都庁前

*行き先 ロマンスクイニジウム など、大山豆腐料理昼食、七沢温泉

*参加費 5千円（半額助成）

◆人権交流会芝浦と場見学

*日 時 9月29日（火）
9月30日（水）

*場 所 芝浦と場

*事前学習会

*日 時 9月19日（土）
17時45分、清掃会館

▼狭山事件の再審を求める東京集会

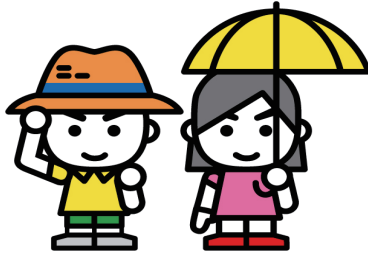
*日 時 9月30日（水）
18時30分

*場 所 台東区民会館ホール

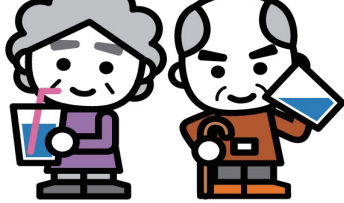
熱中症に注意！！



帽子や日傘で
日ざしをさえぎろう



のどがかわいてなくても



水分補給を！

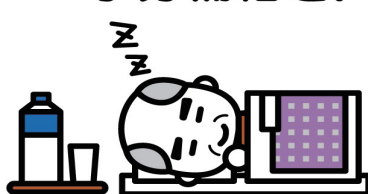
汗をかいたら塩分を摂ろう



エアコン、
扇風機を
使おう



寝る前にも
水分補給を！



メインステージ付近は大混雑



日陰の永田町駅前で声を上げる

暑さに負けず
熱気あふれる
集会冒頭、主
催者から、熱中
症予防が呼び
かけられ、メイ
ンステージ前は
大混雑だったた
め、退職者会は
離れた日陰に陣
取りました。
そのため、発
言はよく聞き取

無理せず日陰で声を上げる
日陰からでしたが、精一杯声
をあげて集会に参加しました。
ただし、集会所を指示しなかつ
たため、会場にいながら合流で
きなかった会員が複数名いたこ
とは反省点です。〈岡澤徹、戸枝章〉

東部労組中心に、毎年社前集
会を開催しています。申入書も
受け取ろうとしない会社側を糾
弾しました。この集会は全ての
働く人の安全・人権尊重に繋が
るものと思います。〈岡澤徹〉

右翼の妨害を跳ね除け

毎月19日の集会は128回目。7
月19日は休日、猛暑を考慮し15
時30分開会でした。全国で3万
人を超える人が参加しています。

国会正門前は右翼が占拠し
たため、場所をずらしての開催
でした。国旗法・スパイ法など
国民の評判がどんどん悪くなっ
ていることを恐れた勢力が、集
会の実力妨害を企てています。

NOWAR! 憲法変えるな! 国会前行動

暑さに負けず 熱気あふれる

無理せず日陰で声を上げる

大久保製塩は 労働者の人権と 安全を尊重しろ



7月7日、東京東部労組・大
久保製塩支部の重大労災7か年
社前集会が開かれました。

7年前の7月7日、積み荷崩
壊による労災事故が発生しまし
たが、会社側は、作業見直しや
施設改善を行わず、昨年も荷崩
れ事故が再発しました。労基署
の警告指導にも従いません。

東部労組中心に、毎年社前集
会を開催しています。申入書も
受け取ろうとしない会社側を糾
弾しました。この集会は全ての
働く人の安全・人権尊重に繋が
るものと思います。〈岡澤徹〉